



問 岩田池公園及び千歳山の整備の計画状況はどうなっているのか

岩田池公園及び千歳山は市街地に残された貴重な資源であり、その資源を有効に活用することにより、交流人口、移住人口の創出にも繋がるものとする。重点課題として「防災・減災まちづくり」が掲げられ、また、「地方創生2.0」に資する地域資源を活かしたまちなか形成も挙げられている。千歳山の整備の計画状況は、どのようなになっているのか質問します。

答 当時の面影を思い起こすことができるような整備に取り組む

岩田池公園は自然と触れ合うことのできる公園としての整備を進めている。現在、岩田池の堤体を利用している市道千歳ヶ丘団地1号線を園路として7mに拡幅整備するため、令和3年度から工事用仮設道路の整備に着手しており、この園路は千歳山へのアプローチとしても利用されることになる。千歳山は、川喜田半泥子が過ごした往時を感じられる歴史的な工作物などを生かし、市街地に残された貴重な自然を保全する整備が有用と考えることから、千歳文庫を眺めることで当時の面影を思い起こすことができるよう、樹木整理や遊歩道整備、トイレや駐車場の整備に取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 津駅周辺基盤整備
- 近隣自治体との連携
- 民間企業との連携
- 農林水産物の販路拡大事業

岩田池の堤体を利用している市道を園路として拡幅整備するための工事用仮設道路



問 物価高の中で、中小企業への直接支援の必要性をどう考えるか

物価高の中で、中小企業支援の強化で賃金引き上げを、という要求が高まっている。幾つかの自治体で直接支援・賃上げ支援や上乗せ等の制度がスタートしている。津市は間接支援はするが直接支援は考えないというが、それでよいのか。

景気が回復したら賃金を引き上げればよいという「先送り論」では、いつ賃金アップができるか分からないと考えるが、津市はどう考えるか。

答 国・県の動きを見ながら、可能な支援を検討していく

市としては、長引く物価高騰の中で、企業が売上げを伸ばし体力をつけ、それを原資として従業員の賃金アップにつなげるよう、今回の補正予算で提案した支援のほか、従前から中小企業振興事業補助金として、新商品の開発や生産性の向上、人材育成や販路開拓などへの支援を行っている。

物価高騰を上回る賃上げは、国として必要な経済政策であるため、国が今後具体的に施策を展開するのか、また、県が独自にどのような対策を取るのかという動きをしっかりと見ながら、市としてどのような支援が可能なのかを判断していく。

その他の質疑・質問

- 特定自治会長問題は終わったことなのか
 - 継続中の訴訟もあるが、市の損害に対する賠償金のうち裁判で確定した全額が回収されたのか
- 戦後80年、市内に戦争遺跡が残っているのか、現状をトータルに把握する必要があるのでは
- 女性用トイレの行列改善について、市のイベントにおける仮設トイレの男女比率は など

特定自治会長問題では今も裁判が続いており、市の損害に対する賠償も未回収額が存在する

